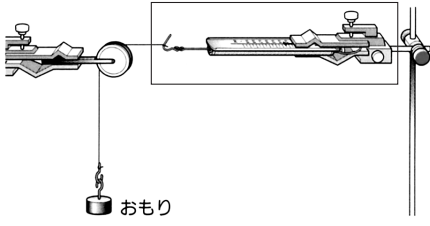
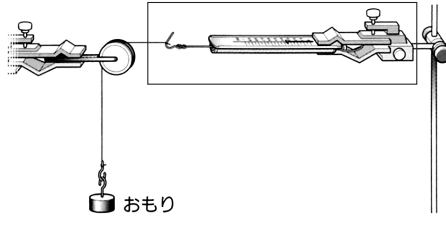
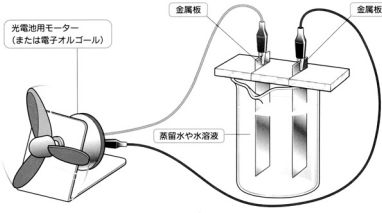
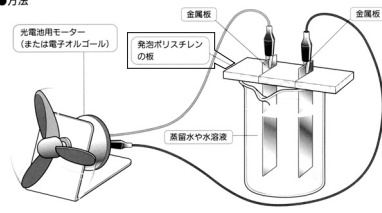


中学校理科 第1分野

巻別	訂正箇所		原 文	訂 正 文
	ページ	行		
上巻	31	下		
上巻	44	7行～9行	<p>一定量の薬品をはかりとるときには、左右の皿に薬包紙をのせ、<u>はかりとる質量の分銅とつりあうまで薬品をのせていく。</u></p>	<p>一定量の薬品をはかりとるときには、左右の皿に薬包紙をのせ、<u>はかりとりたい質量の分銅を左の皿にのせ、それとつりあうまで薬品を右の皿にのせていく(右ききの人の場合)。</u></p>
上巻	60	19行～20行	<p>②うすい塩酸を次の物質に加えたときに発生する気体は、それぞれ何か。(→p.54～57) ア スチールウール(鉄) イ 石灰石 ウ ベーキングパウダー(炭酸水素ナトリウム)</p>	<p>②次の物質どうしを混ぜ合わせたときに発生する気体は、それぞれ何か。(→p.54～57) ア スチールウール(鉄)とうすい塩酸 イ 石灰石とうすい塩酸 ウ ベーキングパウダー(炭酸水素ナトリウム)とうすめた食酢</p>
上巻	69	右14行～16行	<p>管に針で小さな穴をあけて、管の中に調べたい水溶液を吸いこませる。そのとき変化した色で水溶液の性質がわかる。</p>	<p>管についている栓をぬき、管の中に調べたい水溶液を吸いこませる。そのとき変化した色で水溶液の性質がわかる。</p>
上巻	74	左 9行～10行	<p>●金属と非金属／物質は、<u>電気を通し、特有の光沢がある金属と、そうでない非金属に分類できる。</u></p>	<p>●金属と非金属／<u>無機物は、電気を通し、特有の光沢がある金属と、そうでない非金属に分類できる。</u></p>

中学校理科 第1分野

巻別	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
下巻	21	24行	③化学式で、 H_2 と $2H$ の意味のちがいを説明せよ。(→p.18,21)	③化学式で、 H_2 と $2H$ の意味のちがいを説明せよ。(→p.18)
下巻	60	左13行～15行	●運動と力の関係／力は、物体の速さや運動の向きを変える原因となる。物体が他の物体に力を加えると、同時に、 <u>その物体は相手から力を受ける。</u>	●運動と力の関係／力は、物体の速さや運動の向きを変える原因となる。物体が他の物体に力を加えると、同時に、 <u>その物体は相手から逆向きに同じ大きさの力を受ける。</u>
下巻	75	中	<p>●準備／光電池用モーター(または電子オルゴール)、導線、みのむしクリップ、蒸留水、水溶液(食塩水、砂糖水、うすい塩酸など)、ピーカー(またはガラス製のコップ)、銅板、亜鉛板</p> <p>●方法</p> 	<p>●準備／光電池用モーター(または電子オルゴール)、導線、みのむしクリップ、蒸留水、水溶液(食塩水、砂糖水、うすい塩酸など)、ピーカー(またはガラス製のコップ)、銅板、亜鉛板、発光ポリスチレンの板</p> <p>●方法</p> 
下巻	76	側注	※1 電池 化学変化を利用している電池のことをとくに化学電池といい、 <u>太陽電池</u> などと分けている。	※1 電池 化学変化を利用している電池のことをとくに化学電池といい、 <u>光電池</u> などと分けている。
下巻	78	右7行～8行	● <u>熱エネルギーの発生</u> ／化学変化では熱の出入りが起こる。	● <u>熱エネルギーの出入り</u> ／化学変化では熱の出入りが起こる。

中学校理科 第2分野

巻別	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
上巻	17	中	<p>模式図</p>	<p>模式図</p>
上巻	21	下	<p>観察2 茎のつくりを調べよう</p> <p>身のまわりの植物から、主根と側根をもつ植物とひげ根をもつ植物を選んで、茎のつくりを観察しよう。</p> <p>●準備 / ヒメジョオン・ホウセンカ・ススキ・トウモロコシなど、三角フラスコ(2)、ペトリ皿、かみそりの刃、着色した水(青いインキ、食紅などをかき入れた水)、顕微鏡(または顕微鏡)、顕微鏡観察用具、スポイト</p> <p>●方法</p> <p>① 着色した水にさせておいた植物の茎を、かみそりの刃で縦切りや斜りにする。</p> <p>② うすくきれいに切れた切片をスライドガラスに置き、双葉実体顕微鏡で観察する。③水はどの部分を通って移動したと考えられるか。</p> <p>④ 着色した水にさせておいた植物の茎を、かみそりの刃で縦切りにする。また、ピスにはさんで縦切りにする。</p> <p>⑤ うすくきれいに切れた切片をスライドガラスに置き、双葉実体顕微鏡で観察する。⑥水はどの部分を通って移動したと考えられるか。</p> <p>●まとめ / 1. 茎の内部にはどのようなつくりが見られたか。 2. 植物の種類によって、茎のつくりにはどのようなちがいが見られたか。</p> <p>かみそりの刃を使うときは、手前に引くようにし、じゅうぶん注意する。</p> <p>茎についても同じ方法で調べてみよう。</p> <p>※1 顕微鏡観察用具、顕微鏡、スライドガラス、カバーガラス、ピンセット、えつき針、ろ紙</p>	<p>観察2 茎のつくりを調べよう</p> <p>身のまわりの植物から、主根と側根をもつ植物とひげ根をもつ植物を選んで、茎のつくりを観察しよう。</p> <p>●準備 / ヒメジョオン・ホウセンカ・ススキ・トウモロコシなど、三角フラスコ(2)、ペトリ皿、ピス、かみそりの刃、着色した水(青いインキ、食紅などをかき入れた水)、双葉実体顕微鏡(または顕微鏡)、顕微鏡観察用具、スポイト</p> <p>●方法</p> <p>① 着色した水にさせておいた植物の茎を、かみそりの刃で縦切りや斜りにする。また、ピスにはさんで縦切りにする。</p> <p>② うすくきれいに切れた切片をスライドガラスに置き、双葉実体顕微鏡で観察する。③水はどの部分を通って移動したと考えられるか。</p> <p>④ 着色した水にさせておいた植物の茎を、かみそりの刃で縦切りにする。また、ピスにはさんで縦切りにする。</p> <p>⑤ うすくきれいに切れた切片をスライドガラスに置き、双葉実体顕微鏡で観察する。⑥水はどの部分を通って移動したと考えられるか。</p> <p>●まとめ / 1. 茎の内部にはどのようなつくりが見られたか。 2. 植物の種類によって、茎のつくりにはどのようなちがいが見られたか。</p> <p>かみそりの刃を使うときは、手前に引くようにし、じゅうぶん注意する。</p> <p>根についても同じ方法で調べてみよう。</p> <p>※1 ピス、植物であるニワトコの茎の髄、棒状の発泡ポリスチレンでもよい。 ※2 顕微鏡観察用具、顕微鏡、スライドガラス、カバーガラス、ピンセット、えつき針、ろ紙</p>
上巻	23	中下	<p>※1 ピス</p> <p>※1 ピス/植物であるニワトコの茎の髄。棒状の発泡ポリスチレンでもよい。</p>	<p>ピス</p> <p>削除</p>
上巻	25	右下		

中学校理科 第2分野

巻別	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
上巻	33	図23	<p>図23 植物の体のつくりとはたらきの概観図。左側に示した葉、茎、根の断面の写真は染色したもの。単子葉類、双子葉類については、p.36で学習する。</p>	<p>図23 植物の体のつくりとはたらきの概観図。左側に示した葉、茎、根の断面の写真は染色したもの。単子葉類、双子葉類については、p.36で学習する。</p>
上巻	40	左上		
上巻	40	左下		
上巻	45	左中	<p>れき岩 砂岩</p>	<p>れき岩 砂岩</p>

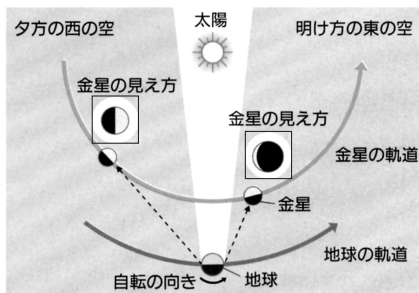
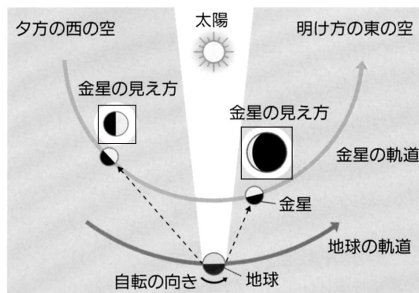
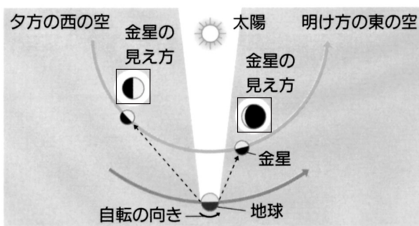
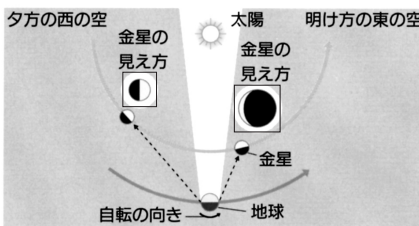
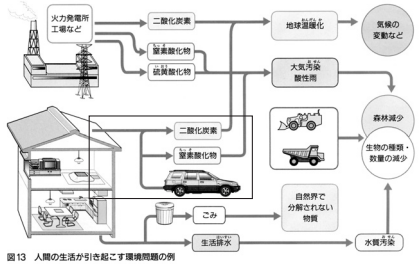
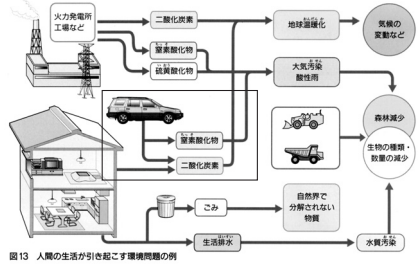
中学校理科 第2分野

巻別	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
上巻	55	18行～19行	1990年11月、長崎県の雲仙岳(普賢岳)は約200年ぶりに噴火をはじめ、翌年5月以降、かたまり状のよう岩が顔を出し、激しい火砕流もくり返し発生した。一方、ハワイのマウナロア山の噴火では、 <u>1000℃をこえる熱いよう岩が噴水のようにふき出した(図11)。</u>	1990年11月、長崎県の雲仙岳(普賢岳)は約200年ぶりに噴火をはじめ、翌年5月以降、かたまり状のよう岩が顔を出し、激しい火砕流もくり返し発生した。一方、ハワイのマウナロア山では、 <u>1000℃をこえる熱いよう岩が噴水のようにふき出す噴火をくり返してきた(図11)。</u>
上巻	56	下	<p>①加えるホウ砂の量を覚えて、このちがうホウ砂の水溶液を2つ作る。 ホウ砂 0.3g ホウ砂 1.0g</p> <p>②PVA液たぐりのりに水を加えたビーカーを2つ(AとB)用意して、ともによく混ぜる。</p> <p>③ビーカーA、Bにそれぞれ、このちがうホウ砂の水溶液を加えて、またよく混ぜる。</p> <p>A、Bともに、PVA液たぐりのり 20cm³、水 5cm³</p> <p>このちがうホウ砂の水溶液をA、Bともに10cm³入れる。</p> <p>ビーカー(200cm³) ビーカー(50cm³)</p> <p>できた2つのスライムを、ペトリ皿に移す。</p> <p>ねばりけの弱いとき ねばりけの強いとき</p> <p>混ぜてスライムになるときに、AとBのねばりけがちがうことも確認してあこう。</p>	<p>①加えるホウ砂の量を覚えて、このちがうホウ砂の水溶液を2つ作る。 ホウ砂 0.3g ホウ砂 1.0g</p> <p>②PVA液たぐりのりに水を加えたビーカーを2つ(AとB)用意して、ともによく混ぜる。</p> <p>③ビーカーA、Bにそれぞれ、このちがうホウ砂の水溶液を加えて、またよく混ぜる。</p> <p>A、Bともに、PVA液たぐりのり 20cm³、水 5cm³</p> <p>このちがうホウ砂の水溶液をA、Bともに10cm³入れる。</p> <p>ビーカー(200cm³) ビーカー(50cm³)</p> <p>できた2つのスライムを、ペトリ皿に移す。</p> <p>ねばりけの弱いとき ねばりけの強いとき</p> <p>混ぜてスライムになるときに、AとBのねばりけがちがうことも確認してあこう。</p> <p>ホウ砂やPVA液たぐりのりは、目などに入ると危険なので、先生の指示にしたがって注意してあこう。</p>
上巻	59	下	<p>安山岩のスケッチ(約2.5倍) 花こう岩のスケッチ(約2.5倍)</p>	<p>安山岩のスケッチ(約2.5倍) 花こう岩のスケッチ(約2.5倍)</p>
上巻	92	左上	<p>レンズ ひとみ 網膜</p> <p>レンズ こうさい フィルム</p> <p>図10 ヒトの目とカメラのつくり</p>	<p>レンズ ひとみ 網膜</p> <p>レンズ こうさい フィルム</p> <p>図10 ヒトの目とカメラのつくり</p>
上巻	92	3行(ルビ)	じじょうこつ	じじょうこつ

中学校理科 第2分野

巻別	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
上巻	94	7行	脳やせきずいと神経をまとめて神経系という。神経系は、脳とせきずいからなる中枢神経と、これから出て枝分かれし、体のすみずみまでいきわたる末しょう神経とからできている(図15)。	脳やせきずいと、 <u>そのほかの神経</u> をまとめて神経系という。神経系は、脳とせきずいからなる中枢神経と、これから出て枝分かれし、体のすみずみまでいきわたる末しょう神経とからできている(図15)。
上巻	95	2行~4行	末しょう神経には、感覚器官が受けとった刺激を中枢神経に伝える感覚神経と、 <u>中枢神経からの命令</u> を筋肉などの運動器官に伝える運動神経とがある、神経系は、神経細胞という糸のような突起をもつ細胞の集まりである。	末しょう神経には、感覚器官が受けとった刺激を中枢神経に伝える感覚神経や、 <u>中枢神経からの命令</u> を筋肉などの運動器官に伝える運動神経 <u>など</u> がある、神経系は、神経細胞という糸のような突起をもつ細胞の集まりである。
上巻	103	側注	※1 ヒトの肺の表面積 ヒトの肺の表面積は、約56㎡にもなる。 <u>これは教室の広さにほぼ等しい。</u>	※1 ヒトの肺の表面積 肺の表面積は、50~100㎡にもなる。 <u>これは教室の1~2個分の広さにほぼ等しい。</u>
上巻	110	左段33	(<u>感覚神経と運動神経</u>)	(<u>感覚神経や運動神経など</u>)
上巻	118	右中	たなにある <u>食品類</u> が、音をたてることがある。	たなにある <u>食器類</u> が、音をたてることがある。
上巻	118	左下	車輪がきしむ音は礫とよばれ、 <u>礫岩の「れき」も同じような石の転がる音の意味が名づけられた。</u>	車輪がきしむ音は礫とよばれ、 <u>石の転がる音</u> がその音に似ていることから、 <u>礫(れき)岩と名づけられた。</u>

中学校理科 第2分野

巻別	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
下巻	8	27行	これは1㎡あたりおよそ10万Nの圧力になる。1気圧は、気圧の単位であるヘクトパスカル(記号hPa)で表すと、1013hPaになる。	これは1㎡あたりおよそ10万Nの圧力になる。1気圧は、気圧の単位であるヘクトパスカル(記号hPa)で表すと、 <u>約</u> 1013hPaになる。
下巻	28	左段15行	●気圧/hPa(ヘクトパスカル)で表す。1気圧は1013hPaで、1㎡あたり約10万Nの圧力である。	●気圧/hPa(ヘクトパスカル)で表す。1気圧は <u>約</u> 1013hPaで、1㎡あたり約10万Nの圧力である。
下巻	65	右下	 <p>図21 地球から見た金星</p>	 <p>図21 地球から見た金星</p>
下巻	78	右下		
下巻	93	上	 <p>図13 人間の生活が引き起こす環境問題の例</p>	 <p>図13 人間の生活が引き起こす環境問題の例</p>
下巻	98	下	<p>図16 失われていく森林(アマゾン川流域) 上の写真は、耕地などにするために焼き払われているアマゾン川流域の森林である。左上の写真は人工衛星から撮影したもので、筋のように見える部分<u>が</u>森林が失われた所である。</p>	<p>図16 失われていく森林(アマゾン川流域) 上の写真は、耕地などにするために焼き払われているアマゾン川流域の森林である。左上の写真は人工衛星から撮影したもので、筋のように見える部分(道路)や、赤い部分は森林が失われた所である。</p>
下巻	102	27行	異常 <u>小</u> 雨	異常 <u>少</u> 雨